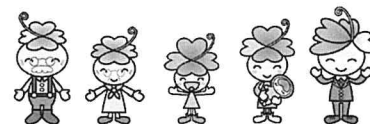


令和6年度 事業報告



令和6年度事業の概要

令和6年度は第2次姉崎地区行動計画の2年目であり、市原市第6次地域福祉活動計画と連携・連動し、住民の皆さまと一体となり地域共生社会の実現を目指すための事業を推進してまいりました。その結果は下記のとおりです。

- ① 地域共生社会を目指した「ニコニコサロンや地域食堂“げんき食堂アネッサ”」などの既存事業定着化を図れた。
- ② 第2層協議体から提案された日常生活支援事業「姉崎チョコっとサービス」は、実施件数は少ないが、徐々に活動が地域に浸透していている。
- ③ 子育て家庭の支援、高齢者の活躍の場づくりを目的に「制服リユース事業」に取り組んだ。
- ④ 人材育成・発掘として、チラシの配布や声掛けを強化し、一緒に行事に参加していただき福祉活動の楽しさを知っていただけるよう活動に取り組んだ。
- ⑤ 地区行動計画の達成に向け、PDCAを意識し行動した。
- ⑥ 防災・減災・復旧時対応等の訓練として、「福祉避難所設置運営訓練」に参加した。

「基本目標Ⅰ：地域の誰もが互いに支え合うコミュニティづくり」【共感】

1.地域・福祉を知る機会の充実「福祉意識の醸成」

(1)広報部会

- ①広報誌「そよ風」第60号（7月）、第61号（12月）を発行
- ②発行数 9,000部/号
- ③今後へ 高齢者福祉施設への配布先の拡充を検討していく。

(2)福祉バザー

本年度も、子どもから高齢者まで誰もが楽しめるフェスティバル風の交流の場の開催を目標に、6月から検討会を行い、昨年の来場者の声を反映し、構成団体員70名、臨海企業、周辺商店様からの寄付等、住民の皆さまのご協力により無事開催することができた。

- ①開催日時 ・ 令和6年10月14日(祝・月) 10時～13時 アネッサ
- ②売上額 ・ 366,517円 来場者350名強
- ③今後へ ・ バザー物品販売は1時間ほどで完売になるため、次年度はサークル発表を多くの方に見ていただくため、時間の調整を行うこととしたい。

(3)制服リユース事業

「生活困窮者支援及び高齢者の活躍の場づくり」を目的に活動を推進。事業内容として、姉崎地域の中学校卒業生の家庭から不要となった制服を譲って頂き、必要とするご家庭に無償で提供する活動を行った。

～制服譲渡会の実施～

- ①日時・場所 ・令和6年9月6日（金）、7日（土）、8日（日） 6日は16時から17時
7日、8日は10時から13時 アネッサ内で実施
- ②参加者数 ・9世帯 計10名に制服やジャージ等計32点を譲渡
- ③寄付受付数 ・計104点
- ④今後へ ・令和7年度より姉崎中、姉崎東中学校の制服がブレザーへ変更となるため、現在の学ランの需要は今後少ないと思われるが、継続して寄付の受付、譲渡会を行うこととする。

2.人と人とのふれあいを育む場の推進

(1)共生型サロン事業（茶話会）

令和6年度より世代を問わない共生型サロンへ移行した。また、アネッサとの共催事業として一本化し、月に1回アネッサ体育室で開催した。

- ①日時・場所 ・毎月第4水曜日 アネッサ 体育室
- ②参加者数 ・延べ355名、11回 スタッフ数：延べ102名
- ③事業内容： ・軽運動及び演奏会や歌唱などのイベントを実施
- ④今後へ ・参加者は平均30名ほどで安定しており、イベントも好評であった。
男性参加者が少ないため、周知が必要

(2)ふれあいサロン事業（子育てサロン）

公民館との共催事業として、外部講師の指導も仰ぎ、親子のスキンシップ、子育て中の親とのコミュニケーションなどを図ることができた。

- ①参加者数 ・延べ241名、11回 スタッフ数：延べ147名
- ②今後へ ・昨年度はコロナ禍明けで参加者数が減少したが、今年度はコロナ禍前の人数に戻っている傾向であった。継続して事業を実施していく。

(3)地域食堂「げんき食堂アネッサ」の開催

元気な高齢者、高校生ボランティアの応援参加のもと、小学生を中心とした「子どもの居場所づくり」を実施した。

- ①日時・場所 ・毎月第4土曜日 10時から13時 会場：アネッサ
- ②目的 ・子ども、高齢者の居場所づくり、若者の担い手づくり
・「子育て世帯・高齢者の孤立防止」、「地域のつながり」の場を目指した。
- ③周知 ・毎月、姉崎地区内の小学校へチラシを配布
- ④参加者 ・参加者延べ 154名 / スタッフ及びボランティア延べ 149名
- ⑤事業内容 ・自由遊び、勉強、折り紙、季節の遊びを盛り込み開催
・ボランティアによる手づくりの美味しいカレー、デザートのお会食（昼食）
- ⑥今後へ ・小学校の行事と重複してしまうことがあったため、次年度は学校行事との調整を行う。

(4)あそびばアネッサの開催（地域福祉支援事業&姉崎保健福祉センター共催）

本年度も、毎月実施の地域（子ども）食堂「げんき食堂アネッサ」の拡大版として多くの地域住民の参加を呼びかけ開催した。

- ①日時・場所 ・令和6年12月14日(日)10時～13時 アネッサ体育室
- ②開催目的 ・世代を超えた交流の場づくり
参加者全員の総力で「共生社会の実現」に向けて開催
・元気な高齢者の活躍の場づくり、こども達の居場所づくり
- ③参加者 ・一般参加者延べ 27名
・スタッフ及びボランティア延べ 35名
(内訳：うぐいす卓球サークル、市原ジャグリングサークル JugJug、元気な高齢者)
- ④今後へ ・昨年度に比べ、学校行事と開催日が重なったため参加者が大幅に減少した。
日程変更等は難しいが、事業周知のため継続して実施していく。

1.地域で孤立させない取り組みの強化

(1) おしゃべりカフェ（相談支援事業）

地域住民の「悩み・困り事」等を気軽にお茶・コーヒーを飲みながら、「ちょっといっぶくの気持ちでおしゃべりできる空間」を創っている。

- ①開催日時 ・原則毎月第1水曜日10時～12時 アネッサ相談室2
- ②相談者数 ・延べ6名
- ③今後へ ・次年度から相談箱と本事業を新たな相談システムへ見直すこととなった。具体的には、相談対象者が多い地区社協事業開催時に「相談コーナー」を開設し、相談事を繋ぐ体制を構築する。

(2) 日常生活支援事業【姉崎（チョコっと）サービス】（あねチョコ）

高齢者地域支え合い事業（第2層協議体）と一体となり、令和6年度より本格実施を開始した。

- ①活動概要 ・地域福祉関係者による日頃の見守り活動の中で気づいた事を相談、作業実施で対応する。
・素人ができるちょっとした7つの作業に限定（ゴミ出し、部屋の掃除、草刈り、電球交換等）
- ②活動状況 ・利用件数13件 【内訳：実施8件、対象外2件、相談対処3件】
実施した支援：ゴミ出し2件、庭の草刈り4件、部屋掃除2件、
- ③今後へ ・外部支援作業時の夏場の猛暑、冬場の雨天、気温の低下など実施が難しいことが多かった。真夏の外作業などの実施は今後検討していくこととする。
・3小学校区にそれぞれコーディネーターを配置し、支援体制の構築を進めていくこととする。

2.生活を支えるための体制強化

(1)近隣地区社協との連携・事業

有秋地区社協、千種地区社協との連絡会を開催した。

- ① 開催月日 令和7年1月20日 17時～18時 住友化学(株)厚生棟 ふおれすと
- ② テーマ アネッサにおける福祉避難所開設に向けた勉強会、及び交流親睦会

(2)移動支援活動の推進（新）

青葉台小 NW を実施主体とした買い物支援策として、社会福祉法人と連携した「ふれあい買い物ツアー」を開始した。

- ①開催日時 ・毎月第4金曜日9時30分～12時頃まで
- ②買い物先 ・令和7年1月までは、イトーヨーカドー姉崎店、DCM 姉崎店
同年2月よりアリオ市原店
- ③参加者数 ・延べ91名
- ④今後へ ・イトーヨーカドー姉崎店の閉店に伴う買い物難民の増加が懸念される。
青葉台小学校区以外の同事業の必要性を模索していくこととする。

「基本目標3：地域で安心して幸せに暮らすための基盤づくり」【共生】

1.災害対応力の体制構築

(1) 福祉避難所（アネッサ）開設時の協力体制について

本事業は、被災時のアネッサ福祉避難所の運営について、協力体制の構築に努める。

- ①活動内容
 - ・令和7年2月11日（祝・火）「福祉避難所設置運営訓練」に11名が参加。
- ②今後へ
 - ・災害時に円滑な支援活動を展開できるよう福祉避難所への協力体制構築に向けた勉強会等を実施していく。